

令和 5年度 杉並区施策評価シート I

(00040)

施策	05	人々の暮らしを支える都市基盤の整備
目標	02	多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち
施策担当課	都市整備部管理課	関係課 市街地整備課 土木計画課 土木管理課

施策目標 鉄道の連続立体交差化や各地域の実情や特性を踏まえた駅周辺道路・広場の整備が行われることにより、踏切による交通渋滞・事故や地域分断の解消、及び円滑な交通ネットワークの形成が進んでいます。都市計画道路や生活道路の整備が着実に進むことによって、まちの防災性や安全性が高まり、移動しやすいまちになっています。都市基盤整備の基礎となる区内の土地や建物などの情報が着実に整備され、都市基盤の整備や大規模災害への備えが進んでいます。

活動指標		成果指標	
指標名(1)	区施行優先整備路線の事業着手率	指標名(1)	身近な道路が安全で快適だと思う区民の割合
算式・指標説明	事業着手率 ÷ 区施行優先整備路線延長	算式・指標説明	区民意向調査による【区民】
指標名(2)	安全対策路線の整備延長	指標名(2)	都市計画道路(区道)完成延長
算式・指標説明	平成29年度からの整備延長	算式・指標説明	区内の都市計画道路のうち整備が完成して区道延長【行政】
指標名(3)		指標名(3)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
指標名(4)		指標名(4)	
算式・指標説明		算式・指標説明	
		指標名(5)	
		算式・指標説明	
		指標名(6)	
		算式・指標説明	

区分	単位	令和 2年度		令和 3年度		令和 4年度		目標値	目標年度	
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績				
活動指標	活動指標(1)	1	%	26	26	26	39	39		
	活動指標(2)	2	km	1.8	1.5	1.5	1.5	1.5		
	活動指標(3)	3								
	活動指標(4)	4								
成果指標	成果指標(1)	5	%	76.9	0.0	79.1	78.0	75.9	80.0%	令和12年度
	成果指標(2)	6	m	7,022	8,052	7,022	7,022	7,022	8,178m	令和12年度
	成果指標(3)	7								
	成果指標(4)	8								
	成果指標(5)	9								
	成果指標(6)	10								
施策コスト	事業費	11	千円	1,306,845	1,508,089	1,359,182	1,575,631	1,275,233	特記事項	
	人件費	12	千円	252,822	251,945	291,333	320,923	317,400	「杉並区まちづくり基本方針」は、冊子及び概要版の印刷が未執行となりました。都市計画道路の整備における物件調査及び補償総合業務費の一部を次年度に繰越しました。道路の路面改良では、工事の落札差金及び令和5年度への繰越がありました。魅力ある歩行者優先の道づくりでは、無電柱化の推進に関わる設計、測量、調査等委託費の落札差金がありました。以上の内容から執行率が低下しております。	
	総事業費(11+12)	13	千円	1,559,667	1,760,034	1,650,515	1,896,554	1,592,633		
	国・都からの補助金等	14	千円	308,191	243,610	263,760	236,036	266,303		
	総事業費伸び率(計画、実績の対前年度比)	15	%			5.8	7.8	3.5		
	人件費比率(12÷13)	16	%	16.2	14.3	17.7	16.9	19.9		

課題・分析	<p>成果指標の「身近な道路が安全で快適だと思える区民の割合」は比較的高い水準にありますが、都市基盤の骨格となる都市計画道路の区道完成延長は7,022mであり、国・都道を含む区内都市計画道路完成率は令和4年度末時点で約50%と、23区中20番目と低い状況です。まちの安全性や快適性の向上を図るため、都市計画道路や身近な生活道路等の整備を着実に進める必要があります。</p> <p>また、都市基盤整備の基礎となる都市基盤情報の整備では、権利関係が複雑な都市部での地籍調査などに多くの費用と時間を要することから、国や都の補助金を活用しながら区の財政負担を軽減しつつ、早期完了を目指して調査を実施していく必要があります。</p> <p>鉄道連続立体交差事業については、複数の関連機関と密に連携しながら事業を進める必要があります。都市計画道路の整備同様、区民への説明や意見聴取を丁寧に行いながら、誰もが安心して快適に移動できる都市環境の形成を目指していきます。</p>
-------	--

施策の成果	<p>都市を形成する最も基本的なインフラである道路や鉄道については、鉄道連続立体交差事業において、用地測量や関係機関協議など、事業化に向けた具体的な取組を実施し、踏切による交通渋滞・事故や地域分断の解消に向けた取組を進め、成果指標である都市計画道路の整備では、補助第221号線において事業着手する等により、円滑な交通ネットワークの形成に向け、着実に事業を進めることができました。</p> <p>さらに、生活道路の整備については、優先整備路線の事業着手を計画目標値に沿って進めることにより、まちの防災性や安全性、移動円滑性を向上させることができました。</p> <p>また、これら都市基盤を管理する上で重要な道路を含む公共物の情報整備の面では、計画的に測量や現地立会を実施し、着実に調査面積を増やしており、大規模災害等への備えにも資する都市基盤情報の整備を進めています。</p> <p>区のまちづくりの将来像を描いた「杉並区まちづくり基本方針」に、これらの事業を進める上で必要不可欠となる対話や情報提供による区民参加の推進について記載することにより、区民主体のまちづくりの実現を図っています。</p>
-------	---

<p>改善・見直しの方向 中長期</p>	<p>今後の施策の方向性 拡充</p> <p>今後の進め方</p> <p>今後も施策目標で掲げる交通渋滞の解消や円滑な交通ネットワークの形成、まちの防災性などを高めるため、鉄道連続立体交差事業や都市計画道路など都市の骨格を形成する都市基盤の整備を推進する必要があります。一方で、区民の身近な生活で利用される生活道路や私道の整備についても、計画的に修繕工事を行いつつ、年間の整備面積を増やしていくことにより、区道・私道問わず、より利用者の安全な通行に向けた取組を進めていきます。</p> <p>このほか、これら道路を含む公共物の適正な管理や災害時における迅速な復旧・復興を図るため、地籍調査を含む道路台帳の整備を推進することとしますが、整備にあたっては木造住宅密集地域等を優先的に進めるなど、より効果的な方法を模索しながら進めます。</p> <p>これらの事業を進めるにあたっては、引き続き都や関係区市との連携を強化すると共に、「杉並区まちづくり基本方針」で掲げる、区民主体のまちづくりを念頭に、適宜、地域住民等の意見聴取や情報提供を行いながら、個別具体的な取組を推進することにより、住宅都市としての価値を高めていきます。</p>
--------------------------	--

令和 5年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 05】【施策名称 人々の暮らしを支える都市基盤の整備】

金額の単位は千円

(00040)

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 4年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1 348	まちづくり施策の総合的な推進			4,231	23,392	27,623	現状維持
2 350	都市計画道路公園緑地の案内調整			39	17,967	18,006	現状維持
3 353	鉄道連続立体交差化の推進			117,003	40,216	157,219	推進（拡充）
4 392	道路台帳の整備			192,330	60,805	253,135	推進（拡充）
5 393	私道整備助成			168,773	8,318	177,091	現状維持
6 396	道路の路面改良			617,757	48,503	666,260	推進（拡充）
7 397	魅力ある歩行者優先の道づくり			56,705	44,335	101,040	現状維持
8 398	都市計画道路の整備			118,395	73,864	192,259	推進（拡充）
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				1,275,233	317,400	1,592,633	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--